### 沖縄県教員候補者選考試験

### 国語過去問分析

紀沖縄教員塾

### 目 次

第1章 国語の傾向	2
1−1 全体	2
1-2 学習指導要領	3
1-3 評論文・随筆	4
1-4 小説	6
1-5 韻文(詩•短歌•俳諧俳句)	7
1-6 古文	10
1-7 漢文	11
1−8 国語知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
1-9 琉球•沖縄文学	14
第2章 各年度の出題詳細	17
2-1 2021年度実施選考試験	17
2−2 2020年度実施選考試験	19
2−3 2019年度実施選考試験	·····21
2-4 2018年度実施選考試験	······24
2−5 2017年度実施選考試験	·····27
2-6 2016年度実施選考試験	30
2-7 2015年度実施選考試験	33
2-8 2014年度実施選考試験	36
2-9 2013年度実施選考試験	39
2−10 2012年度実施選考試験	42
2−11 2011年度実施選考試験	45
2-12 2010年度実施選考試験	48
2-13 2009年度実施選考試験	51
2−14 2008年度実施選考試験	54
2-15 2007年度実施選考試験	57
2-16 2006年度実施選考試験	60
2−17 2005年度実施選考試験	63
2−18 2004年度実施選考試験	66
2-19 2003年度実施選考試験	69
2-20 2002年度実施選考試験	······72
第3章 古文・漢文の出典	75
第4章 国語の対策	

# 文学史

《沖縄教員塾

### 目 次

第1章 出題分析	3
第2章 漢文学····································	20
2−1 諸子百家······	20
2−2 歴史書	
2−3 漢詩	
2−4 近現代	33
第3章 日本文学史(古典)	34
3-1 上代の文学	34
3−2 和歌集	
3-3 歌論	
3−4 歌物語······	
3-5 つくり物語	
3-6 日記	50
3-7 随筆	52
3-8 説話	56
3−9 歴史物語······	
3−10 軍記物語	58
3-11 歌謡・史論・歴史書・連歌集・御伽草子・能楽論・キリシタン文学 ············	
3-12 俳諧	
3-13 元禄の三大文豪	65
3-14 近世の戯曲	
3−15 近世の戯作	
3-16 国学など····································	69
第4章 日本文学史(近現代·散文)	74
4-1 写実主義·擬古典主義····································	
4-2 浪漫主義	
4-3 自然主義	
4-4 余裕派(高踏派)····································	
4-5 耽美派	
4-6 白樺派	
4-7 新思潮派(理知派)····································	
4-8 奇蹟派·叙情的ロマン派 ····································	
4-9 プロレタリア文学	
4-10 新感覚派	
4-11 新興芸術派・新心理主義など	
4-12 無頼派(新戯作派)	
4-13 戦後派	

4-14 第二次戦後派	100
4-15 第三の新人	101
4-16 その他の作家	103
4-17 現代の作家	108
4-18 近現代の評論⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	111
4-19 文芸雑誌	113
第5章 日本文学史(近現代·韻文)	116
5−1 詩	116
5−2 近現代の短歌	133
5-3 近現代の俳句	141
第6章 琉球文学史	148
6−1 琉球諸語	
6-2 歌謡	
6-3 琉歌	
6−4 説話文学······	
6-5 組踊	
6-6 日記•評論•随筆	176
6-7 琉球和文学	178
6-8 琉球漢詩文	181
6-9 歴史書など	182
6-10 道徳教本・古語辞典・地誌・その他 ────────	183
6-11 人物まとめ	183
第7章 沖縄文学史····································	184
7-1 山之口獏	
7-2 沖縄県出身の芥川賞受賞作家┈┈┈┈	
7-3 沖縄県出身の他の作家・劇作家	
7-4 沖縄県出身の他の詩人・俳人	
7-5 沖縄芝居	
7-6 伊波普猷	193
7-7 沖縄に関連する作品	194
第8章 海外文学····································	195
8-1 イギリス	195
8-2 ドイツ	
8-3 フランス	
8-4 ロシア	
8-5 アメリカ	207
8-6 その他	209

### 第1章 出題分析

小計・合計は一般教養・専門をあわせた数である。間違いの出題を含む。斜体字は一般教養での出題である。

	漢文学	小計	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度	16 年度	15 年度	14 年 度	13 年度	12 年 度	11 年 度	10 年度	09 年度	08 年 度	07 年 度	06年度	05 年度	04 年 度	03 年度	02 年 度
	儒家	4						1							1	1				1		
	孔子	2						1												1		
	孟子	3						1								1				1		
	性善説	3						1												1		1
	荀子	5						1							1	1				1		1
	性悪説	2																		1		1
	『荀子』	1																				1
	五経	2						1	1													
	『易経』																					
	『書経』																					
	『詩経』																					
	『春秋』	1							1													
	『礼記』																					
	四書	1						1														
	『論語』	3						1	1			1										
	『孟子』	2							1											1		
	『大学』	1							1													
諸	『中庸』																					
子	朱子学																					
百	陽明学	1																				1
家	道家	4						1							1	1				1		
	老子	3					1								1					1		
	無為自然	1						1														
	<b>茬子</b>	1					1															
	『荘子』	1															1					
	墨家	1																		1		
	墨子	2													1					1		
	『墨子』	1															1					
	法家	4						1							1	1				1		
	韓非子	2													1	1						
	『韓非子』	3						1									1 <i>1</i>					
	法治主義	1						1														
	兵家	2													1	1					$\neg$	
	孫武(孫子)	3					1							1		1						
	孫子』	2												1		-	1					
	呉起	_																				
	『呉子』	2					1										1					

沖縄文学	小計	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度	16 年度	15 年度	14 年 度	13 年 度	12 年度	11 年度	10 年度	09 年度	08 年 度	07 年 度	06 年度	05 年度	04 年度	03 年度	02 年 度
野ざらし延男	1					1															
『地球の自転』(句集)	1																	1			
知念榮喜																					
『みやらび』(詩集)	1																	1			
泉見享																					
『時間の周辺』(詩集)	1																	1			
清田政信	1	1																			
『遠い朝・眼の歩み』(詩集)	1	1																			
『光と風の対話』(詩集)	1	1																			
勝連敏雄																					
『帰巣者の痛み』(詩集)	1	1																			
『羽根のある祭り』(詩集)	1	1																			
新城兵一																					
『未決の囚人』(詩集)	1	1																			
『流亡と飢渇』(詩集)	1	1																			
芝憲子																					
『骨のカチャーシー』(詩集)	1																1				
松原敏夫																					
『那覇午前零時』(詩集)	1	1																			
『アンナ幻想』(詩集)	1	1																			
高良勉																					
『絶対零度の近く』(詩集)	1																			1	
知念正真	3						1								1				1		
『人類館』(戯曲)	2						1								1						
以上, 沖縄文学	26	3	2	0	1	0	0	1	1	0	1	2	0	1	2	3	2	2	4	2	0

海外文章	<del>学</del>	小計	21 年 度	20 年度	19 年度	18 年度		16 年度	15 年度	14 年 度	13 年度	12 年 度	11 年度	10 年度	09 年度	08 年 度	07 年度	06 年度	05 年度	04 年 度	03 年度	02 年 度
ディケンズ		1															1					
ヘルマン=ヘッセ		1	1																			
カフカ		1																			1	
スタンダール		2															1				1	
『赤と黒』		2															1				1	
バルザック		1															1					
『ゴリオ爺さん』		1															1					
ゴーゴリ																						
『死せる魂』		1															1					
ツルゲーネフ		1																			1	
ドストエフスキー		1															1					
トルストイ		2															1				1	
『アンナ・カレーニナ	-]	1															1					
『戦争と平和』		2															1				1	
ショーロホフ		1																			1	
『静かなドン』		1																			1	
ヘミングウェイ																						
『武器よさらば』		1																			1	
スタイベック																						
『怒りのブドウ』		1																			1	
	以上,海外文学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

総計	総計	21 年 度	20 年 度	19 年 度	年	年	16 年 度	15 年 度		年		年	年	09 年 度	年	年	年	年	年	年	
総計	224	12	5	14	5	5	15	13	6	11	10	11	11	11	14	15	14	14	17	11	10

### 中学校学習指導要領

## 引用集

紀沖縄教員塾

### 目 次

第1章	学校教	<b>≬育法•中学校学</b>	習指導要領総則	2
第2章	「第1	目標」		3
第3章	「第2	各学年の目標及	び内容[第1学年]」	4
第4章	「第2	各学年の目標及	び内容[第2学年]」	7
第5章	「第2	各学年の目標及	び内容[第3学年]」1	0
第6章	「第3	指導計画の作成	と内容の取扱い」1	3
第7章	解説-	-国語編「第1章	総説」1	5
第8章	解説-	-国語編「第2章	国語科の目標及び内容」 2	<u>'</u> 1
第9章	解説-	-国語編「第3章	各学年の内容」(省略)3	19
第10章	解説	—国語編「第4章	指導計画の作成と内容の取扱い」(省略)3	9

中学校学習指導要領と高等学校学習指導要領いずれにも「第2(款) 教育課程の編成」に「4 学校段階等間の接続」の項目が設けられた。英語・数学・保健体育は、中学校受験者にも高等学校受験者にも、両方の学習指導要領が出題されている(社会・理科は国語と同様)。

国語でも,両方の学習指導要領が出題される可能性がある。

しかし、出るか出ないかわからない異なる校種の学習指導要領の対策までやることは無理だろう。

16は、2016年度実施選考試験で出題された語句を表している。

ゴシックが1回, ゴシック囲みが2回出題された箇所である。

太下線は教職教養で出題された箇所である。

改訂によって出題された語句がなくなった場合がある。

### 第2章「第1目標」

#### 中学校学習指導要領 第2章 各教科 第1節 国語

#### 第1 目標 20 05 02

**言葉による見方・考え方**を働かせ、言語活動を通して、国語で**正確**に理解し適切に表現する資質・能力を次のと おり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。